



きららとしょかん明徳館
図書館だより
第 87 号
発行 令和4年3月18日
秋田市立中央図書館明徳館
秋田市千秋明徳町4番4号
電話 018-832-9220

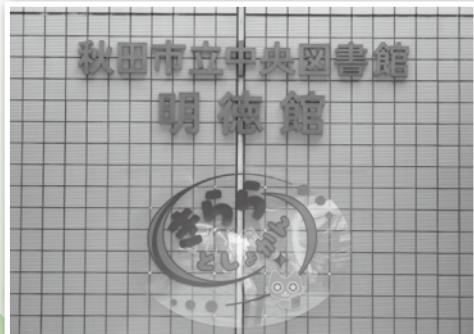
きららとしょかんを よろしくお願ひします！

秋田市立図書館は、平成27年度からネーミングライツ・パートナー制度を導入しています。この制度は、契約により、市の施設などに企業名や商品名等を冠した「愛称」を付けていただくことで、施設の利用者などへのPRができるというメリットに対し、その対価をお支払いいただくものです。秋田市立図書館では、対価を図書資料購入などにあてることで、より充実した図書館づくりに貢献いただいています。今年度から、福祉施設などを運営する「株式会社きららホールディングス」が新しいパートナーとなり、愛称も「きららとしょかん」となりました。

愛称変更に伴い、各市立図書館には「きららとしょかん」という愛称が入った看板が設置されました。また、明徳館では令和3年7月2日に看板の除幕式を開催し、市民の皆さ

んにもご覧いただきました。本来4月に行う予定だったものが、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れてしましましたが、当日は晴天となり、きらら保育園かんとう通りとすこやか保育園の園児たちにも手伝つてもらい、除幕を行うことができました。

株式会社きららホールディングス代表取締役、鈴木嘉彦さんは除幕式のスピーチで、「きららとしょかん」という愛称について、子どもからシニアまで、訪れた方の瞳がきらきらと輝くような図書館であつてほしいという願いを込めて付けたとお話されています。これからも、きららとしょかん明徳館をどうぞよろしくお願ひいたします。



こちらが「きららとしょかん」の看板



式典後の記念撮影



いざ、除幕！

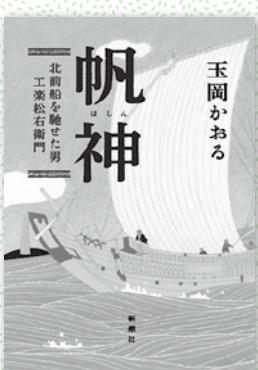
大晦日、まだ丑年のうちに寅に変身してしまいました。新年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今回は旧年中に読んだ本からお薦めを紹介。「帆神 北前船を馳せた男 工楽松石衛門」(玉岡かおる著 新潮社)

「北前船」が気になつて手に取る。

播州高砂の漁師の長男、訳あって故郷を追われるが、船頭で名を上げ、海商として出世する一代記。船の走りを一変させる「松石衛門帆」など船の改良と港湾改修で、海運に革命をもたらす。頂いた名字が工夫を楽しむ「工楽」。読後感は実に爽快だ。秋田の港や、松右衛門を崇拜する高田屋嘉兵衛も登場。思いがけず、三十年ぶりに「菜の花の沖」を読み返す。

丑年に偶然読んだが、松右衛門の幼名は「牛頭丸」。さて今年は寅に因んだどんな本と出会えるか楽しみだ。



玉岡かおる 著
『帆神』(新潮社刊)



“配本ステーション”が増えました



広面児童館



太平地区
コミュニティセンター

当館では、図書館から遠く離れた地域にある公共施設や社会福祉施設などに配本ステーションを設置し、貸出・回収する配本事業を行っています。年間配本日程表に基づき、年6回巡回し、おおむね2か月で本を交換するものです。配本冊数は、原則30～50冊で、内容は配本ステーションの希望に添うように当館が選びます。

今年度から、新たに広面児童館への配本を始めました。構成内容は、絵本20冊、読みもの20冊、紙芝居5冊、工作の本5冊です。こちらには小学校低学年向けの内容の本を選んでいます。

他にも、サービスセンター・やコミュニティセンター、老人ホーム、託児所にも配本を行っています。大人向けには、小説や料理の本、園芸の本など、いろいろなジャンルの本を届けています。周辺にお住まいの方が利用できる配本ステーションもあります。詳しくは秋田市立図書館Webサイトの「配本事業について」をご覧ください。

配本を希望される場合は、事業所の概要や住所が確認できる資料をご用意の上、当館にご相談ください。
(令和4年度の配本希望の受付は終了しました)

* * *

背ラベル更新作業進行中

秋田市立図書館の本は、これまで1978年に改訂された日本十進分類法（NDC）第8版に基づいて背ラベルを作成し配架しておりましたが、現在、最新版第10版（2014年改訂）に移行し、貼り替え作業を進めています。



背ラベルは分類記号や図書記号などを活用し、本を探しやすくなるため、図書館の本の背に貼られています。一度にすべてのラベルを貼り替えることは困難なため、しばらくの間、旧ラベルと新ラベルが混在します。ご理解とご協力をお願いいたします。

日本十進分類法とは？

日本の公共図書館の大多数が分類方法として採用している日本十進分類法は、本の内容を10のグループ（第一区分）に分け、さらにその1グループを10に分けて細かく分類していくものです。

1928年に森清が「和洋図書共用十進分類表案」

を発表し、翌年「日本十進分類法：和漢洋書共用分類表及索引」として刊行されたのが始まりです。

以降、時代が移りゆく中で改訂を重ね、2014年に最新版である現在の新訂第10版が登場しました。

分類することによって同じジャンルの本がまとまって並ぶので、書名が不明でも探しやすい棚になります。

【第一区分】

0	総	記
1	哲	学
2	歴	史
3	社会	科学
4	自然	科学
5	技	術
6	産	業
7	芸	術
8	言	語
9	文	学

移動図書館イソップ号特別出動！ あそびのはじまり



イソップ号特別出動！

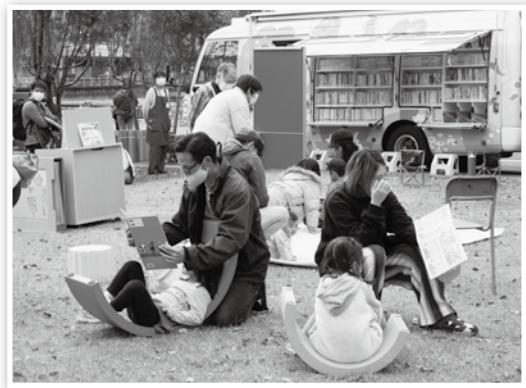
子どものクリエイティブを育てる体験イベント「あそびのはじまり」が、令和3年10月31日（日）、秋田市文化創造館で開催されました。当団は、木のおもちゃで遊んだり、工作したり、秋田で活躍するプロの仕事に触れたりと、様々な体験ができる催しが行われ、多くの親子連れで賑わいました。

図書館が協力した「はうつぱ図書館」のコーナーでは、移動図書館イソップ号の特別出動、おはなし会、本の展示を行いました。

イソップ号

を初めて見かけたという

方々もたくさん集まって、興味深そうにご覧になつたり、じつくり本を読んだり。図書館利用カードを登録して、初めて本を借りる方もありました。



家族で絵本を楽しむ



芝生の上でおはなし会

また、午後は雨のため、会場が芝生からテックに変更されました。が、多くの人が集まって盛り上がりました。

した。

また、「あそび」に関する本を展示し、自由に手に取って読んでもらいました。思い思いの場所で、家族で絵本を読み合い、読書を楽しむ姿が印象的でした。

児童の部		
第68回	産経児童出版文化賞	『うしどざん』
第70回	小学館児童出版文化賞	高畠 那生
第61回	日本児童文学賞	『抨啓パンクスノット』
第61回	日本児童文学者協会賞	石川 宏千花
第61回	『万葉と令和をつなぐアキアカネ』	山口 進
第59回	野間児童文芸賞	『わたし、パリにいったの』
第59回	『たかどの』	ほうこ
第165回	芥川賞	石沢 麻依
第165回	芥川賞	李 琴峰
第166回	芥川賞	砂川 文次
第71回	H氏賞	石松 佳
第67回	江戸川乱歩賞	伏尾 美紀
第67回	『北緯43度のコールドケース』	桃野 雜派
第52回	兎丘一ノンフィクション賞	『老虎残夢』
第52回	『女帝小池百合子』	石井 妙子
第38回	さきがけ文学賞	村雲 菜月
第57回	谷崎潤一郎賞	『アンソーシャルディスタンス』
第34回	『山本周五郎賞』	金原 ひとみ
第165回	直木賞	佐藤 究
第165回	『テスカトリポラ』	
第166回	直木賞	
第166回	『星落ちて、なお』	澤田 瞳子
第166回	『塞王の楯』	今村 翔吾
第166回	直木賞	
第166回	『黒牢城』	米澤 穂信
第69回	直木賞	
第69回	『さだの辞書』	柳田 由紀子
第69回	『宿無し弘文』	さだ まさし
第74回	日本エッセイストクラブ賞	
第74回	『宿無し弘文』	
第74回	『インビジブル』	坂上 泉
第34回	日本推理作家協会賞	櫻田 智也
第34回	『旅する練習』	乗代 雄介

令和3年度の主な文学賞受賞作

※文学賞名ならびに同時受賞者名は五十音順

令和3年度事業

令和3年度に中央図書館明徳館、フォンテ文庫で実施したものを紹介します。

資料展示

「あなたのため秋田市立図書館の雑誌を集めました。」

◆4/6～5/30
明徳館以外の市立図書館で所蔵している雑誌の展示・貸出し。



「第1回芥川賞正賞 懐中時計特別展示」

◆6/22～7/4
◆1/25～2/6
第1回芥川龍之介賞の正賞である懐中時計を1階カウンター前に展示。

「中学生の 選書体験」

◆7月～12月
司書が行っている選書と同様の手順で、本を選ぶ。

「資料展示 調べ学習に役立つ夏休みチャレンジコーナー」

◆7/6～7/15 ◆8/4～8/29
(7/16～8/3は工事のため休館)
夏休みの課題や自由研究の題材となるような図書の展示・貸出し。



夏休み子ども講座 「切り紙でデザインする ステンシルマイバッグづくり講座」

◆8/5
布バッグに自分で切り抜いた紙を配置し、染色してオリジナルのマイバッグを作る。関連資料の展示・貸出し。

「資料展示 「SDGsでつながる世界展」

◆8/11～9/5
◆共催：独立行政法人国際協力機構 JICA東北
秋田県内のJICA海外協力隊の活動やSDGsを紹介するパネル展示と、関連図書の展示・貸出し。

「図書館で見つけよう！ 子ども調べものカウンター」

◆8/4～8/9
子ども専用の読書相談コーナーを設け、本の探し方などをアドバイス。

「明徳館 子ども広場」

◆9/26
ボランティアによる、人形劇「三びきのやぎのがらがらどん」、大型絵本「おばけのてんぷら」などの上演。

「読書週間2021企画資料展 「北の文学 北海道・東北の文学を楽しむ」

◆10/1～11/14
北海道・東北ゆかりの作家の作品を展示・貸出し。また、北海道・東北の文学館や作家記念館のポスター・パンフレットを紹介。



「市民文化講座 「はじめての多読英語 図書館でたくさんの英語に触れよう」

◆10/23、11/6（全2回）
講師：山田佐和子氏（大人のあそなびばん）
多読学習の入門講座。他の学習法との違い、自分のレベルに合わせて読み進めるコツを学ぶ。

「移動図書館イソップ号特別巡回 「あそびのはじまり2021」

◆10/31
◆会場：秋田市文化創造館
子どもたちが様々な体験をするイベントにイソップ号が出動。ボランティアによるおはなし会を実施。

「フォンテ文庫 ウィンタースペシャル 冬のおたのしみ会」

◆12/11
職員によるマジックショーや、ペープルサートシアター、紙コップシアターの上演。

「市民文化講座 「幕末維新期 非業のヒーロー」

◆2/4、2/5（内容は両日とも同じ）
講師：小国裕実氏（明徳館元館長）
幕末から明治維新にかけて活動した、橋本左内など4人の生き方を通して、激動の時代の一端に迫る講座。

「市民文化講座 「太極拳からうまれたゆったり体操 誰でもできる養生功」

◆2/19
講師：朝香美保子氏（「太極拳 立華」主宰）
体を動かしながら、心身の健康について学ぶ。併せて関連図書の展示・貸出し。

「図書館のお仕事たいけん」

◆12/19
児童コーナーの書架整理、カウンター業務、おすすめ本の展示コーナー作りを体験。



「雑誌リサイクル」

◆3/12
保存期限が過ぎた図書館の雑誌を、市民の皆さんに無料で提供。